

強風にめげずゴールまで

1月17日、第13回長島すいせんウォークが開催されました。町文化ホールをスタートし、小浜崎古墳群を折り返す6^キコースと、長崎鼻灯台で折り返す12^キコースに、県内外から1315人がエントリー。昨年同様、スタート直前に冷たい雨。歩き始めると、時折日差しが照りつけるも、終日冷たい北風が吹く一日となりました。

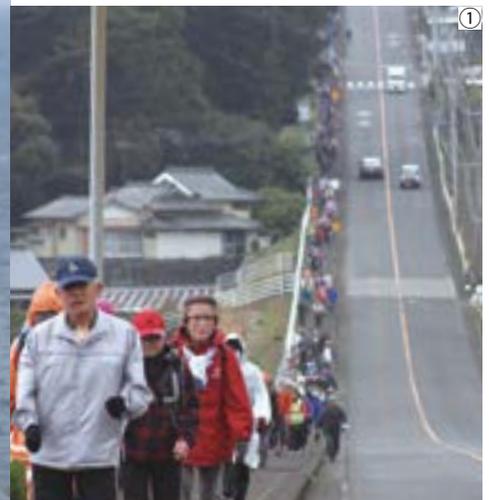
開会式で川添健町長が「起伏が激しいコースだが、町花のスイセンを眺めながら、思い思いのペースでウォーキングを楽しんで」とあいさつしました。

コースには満開を迎えたスイセンが、所狭しと咲き誇り、参加者の疲れを癒しました。

長崎鼻灯台では、参加者にふかしたジャガイモやお茶が振る舞われたほか、灯台の一般公開も行われ、参加者らが灯台からの東シナ海の眺めを堪能しました。

2年連続で参加した阿久根市の小川まゆみさん、富吉薫さんの2人は「スタート直後は寒かったけど、途中から天気が回復して良かった。ふかしたジャガイモも美味しくて、灯台からの景色も最高。特産品ももらえてうれしい。来年も参加したい」と、大喜びの様子で笑顔をみせました。

①国道沿いのコースにできた参加者の長い列
②沿道に咲いたスイセンも参加者を応援
③アツアツのふかしジャガイモをほおぼり「ほっぺが落ちそう」



↑冷たい北風に吹かれても足を進める参加者。12^キコースの折り返し地点、長崎鼻灯台